

2. 全業種総合

生産・売上の状況

—プラス台に改善—

業況判断D Iは+7.8と前期の△0.4と比べ8.2ポイント改善しプラス台となった。

業況判断D Iを業種別にみると、前期と比べ製造業・建設業・不動産業で好転、小売業・サービス業で改善、卸売業で悪化となっている。

生産・売上D Iは+9.6と前期の△1.2と比べ10.8ポイント改善している。生産・売上D Iを業種別に見ると、前期と比べ、製造業・建設業・不動産業で好転、小売業・サービス業で改善、卸売業で悪化となっている。

在庫数量D Iは±0と前期と比べ1.1ポイント減少している。

借入金D Iは△7.8と前期と比べ3.0ポイント増加している。

資金繰りD Iは△0.8と前期と同水準となっている。

設備投資の実施割合は、7.0%と前期の6.1%と比べ0.9ポイント増加した。

経営上の問題点は、「人手不足」39.9%、「売上・受注の停滞・減少」35.6%、「競争の激化」31.0%、「工場・機械の老朽化」16.2%、「原材料高」15.3%の順となっている。今期は特に「原材料高」が前期と比べ大きく増加している。

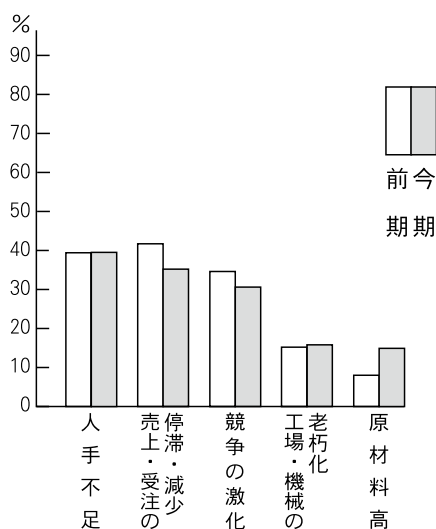
業況	(単位：%)			DI
	好転	変わらず	悪化	
30/7~9	14.0	71.6	14.4	△ 0.4
30/10~12	18.6	70.6	10.8	7.8
31/1~3 (見通し)	15.5	73.9	10.6	4.9

生産・売上	DI			
	増加	変わらず	減少	
30/7~9	16.8	65.2	18.0	△ 1.2
30/10~12	21.9	65.8	12.3	9.6
31/1~3 (見通し)	17.9	70.9	11.2	6.7

在庫数量	DI			
	増加	変わらず	減少	
30/7~9	5.6	89.9	4.5	1.1
30/10~12	7.2	85.6	7.2	0.0
31/1~3 (見通し)	5.8	88.3	5.9	△ 0.1

借入金	DI			
	増加	変わらず	減少	
30/7~9	6.3	76.6	17.1	△10.8
30/10~12	7.0	78.2	14.8	△ 7.8
31/1~3 (見通し)	5.1	82.5	12.4	△ 7.3

経営上の問題点



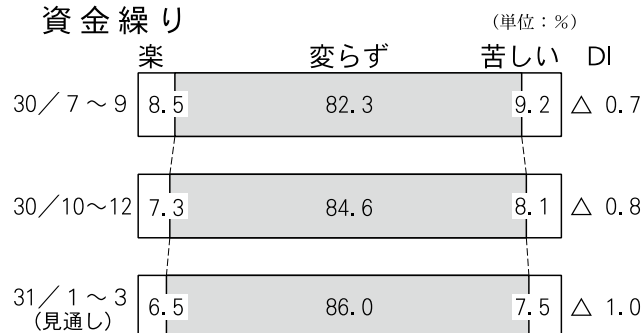
収益の状況

－プラス台に改善－

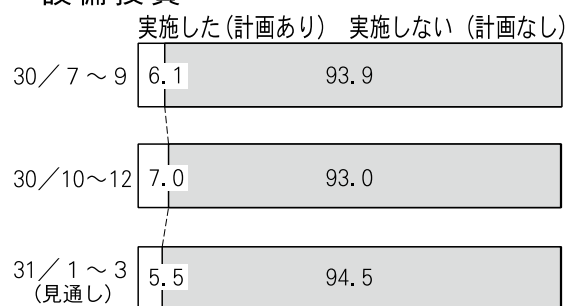
今期の収益DIは+0.6と前期と比べ8.8ポイント改善し、プラス台になった。収益DIを業種別に見ると、前期と比べ不動産業で好転、製造業・小売業・サービス業・建設業で改善、卸売業で悪化となっている。

来期の収益DIは△0.2と今期と比べ0.8ポイント悪化すると予測している。

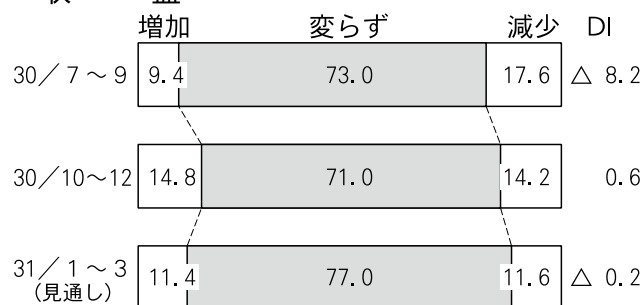
資金繰り



設備投資



収益



来期の見通し

－来期もプラス台を予測－

来期の業況判断DIは+4.9と今期と比べ2.9ポイントの後退、生産・売上DIは+6.7と今期と比べ2.9ポイント後退するもプラス台を維持すると予測している。